

平成23年度事務事業評価シート(平成22年度分)

予算科目	会計	一般会計	001	款	10	項	05	目	02
事務事業名	放課後囲碁教室開催事業								
担当部署	生涯学習部生涯学習課	2801000	電話	0187-63-1111			内線	339	

◆事務事業の位置づけ

総合計画の体系	施策の柱	02:未来を創り心豊かな人を育むまちづくり
	施策の大綱	01:学校教育の充実
	施策	01:学校教育の充実
	施策の内容	03:児童生徒の課外活動や校外活動の充実
根拠法令等		

◆計画Plan

事業の目的 (何のためにこの事業を行うのか)	放課後に囲碁教室を開催することで、礼儀作法と社会性を身に付けさせる。
事業の対象 (事業の対象となる人、物など)	市内小中学生
事業の内容 (具体的にどのような活動をするのか)	①放課後に囲碁教室を実施する。 ②プロ棋士による入門教室等のイベント実施(月1回) ③毎週金曜日夕方より、初心者囲碁サロンを運営
事業の成果 (どのような成果を期待するのか)	囲碁を通して、指導者への感謝の気持ちや友達との交流、あいさつや準備・後片づけなどの基本的な生活習慣が身に付く。

◆実施Do

項目	名称	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度
活動結果 (事業の活動量を測る)	① 放課後囲碁教室実施校	校	23	24	18
	② プロ棋士によるイベント回数	回	3	13	15
	③ 初心者囲碁サロン回数	回			22
成果 (事業の成果を測る)	① 放課後囲碁教室参加者数	人	188	207	189
	② プロ棋士によるイベント参加者数	人	84	800	750
	③ 初心者囲碁サロン参加者数	人			350
投入コスト	決算額		652千円	1,256千円	1,025千円
		一般財源	250千円	250千円	225千円
			1,427千円	705千円	713千円
	人件費	一般職員の年間従事人数	0.2人	0.1人	0.1人
		一般職員以外の年間従事人数	0.0人	0.0人	0.0人
	総コスト	(決算額+人件費)	2,079千円	1,961千円	1,738千円

事業を取り巻く環境	市での囲碁普及の取り組みを始めて6年目となるが、全国紙で報道されるなど全国的に認知されている。 協力団体の財団法人日本棋院との関係も良好である。 運営は「大仙市子ども囲碁普及指導者会」会員が会費を持ち寄って行っている。
-----------	---

◆評価Check

評価項目		評価	
必要性	①【市民ニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていませんか	A 薄れていない B 薄れている	A
	②【市が実施する必要性】 市が実施主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	③【計画上の位置づけ】 施策を達成するための手段として妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	評価の理由	市内小学校の8割にあたる小学校が放課後囲碁教室を実施しており、学校からの開催要望は強い。 財団法人日本棋院と大仙市が業務提携を結び、実施している事業の一つであるため、市が主体となつて事業を行うことが望ましい。	
有効性	①【成果】 活動結果に対し事業の成果は順調に上がっていますか	A 上がっている B 上がっていない	A
	②【活動内容見直しの余地】 事業の成果をさらに向上させるため、事業内容に見直しの余地がありますか	A 余地はない B 余地はある	B
	評価の理由	初心者囲碁サロンの開設など、常に事業内容を見直しながら行っている。	
効率性	①【民間の活用】 指定管理者制度を含む民間委託等により、コスト削減できませんか	A できない B できる C 指定管理導入中	A
	②【他事業との統合・連携】 他の類似事業との整理統合や、関連事業との連携は可能ですか	A できない B 可能である	A
	③【人件費の圧縮】 適正な人員配置(従事職員数、臨時雇用等)により、人件費を削減できますか	A 削減できない B 削減できる	A
	④【コストの縮減】 上記以外の方法で、事業の成果を維持しながらコストの削減、またはコストを増加させずに事業の成果を上げることはできませんか	A できない B できる	B
	評価の理由	効率化のためには事務局ボランティアの存在が必須と考えられるが、協力団体である日本棋院の対応は自治体が窓口となっているため、現状を維持したい。 参加料を徴収し、事業経費の削減につなげている。	

◆改善Action

総合評価 (今後の方向性)	A 現状のまま継続 B 改善しながら継続	評価の理由 今後の改善策等(いつ、何を、どのように)
改善	C 拡大 D 縮小 E 廃止 F 終了	将棋指導と同様に技術の向上を図るだけでなく、古来からの文化にふれることにより礼儀作法や相手を敬う心の醸成等、人格形成に大きく寄与しているものであり、地域住民からも積極的に協力を得ているなど事業運営はすこぶる順調である。家庭で対局できるよう親への囲碁教室も随時門戸を広げているが、取組み者の増を図る必要がある。